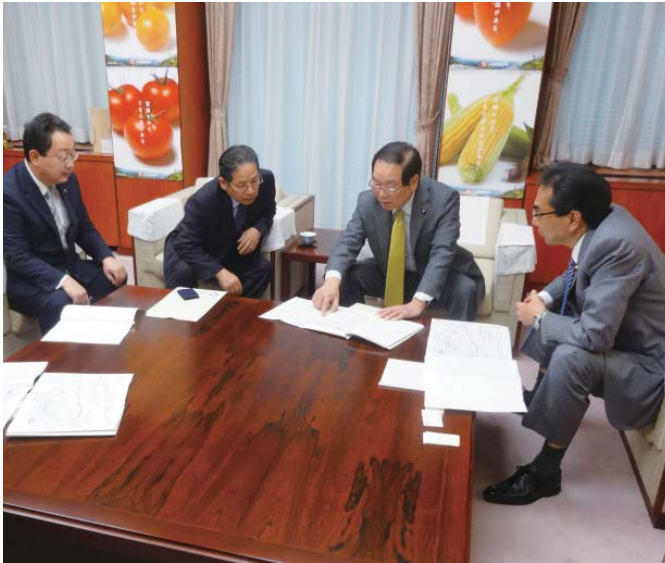


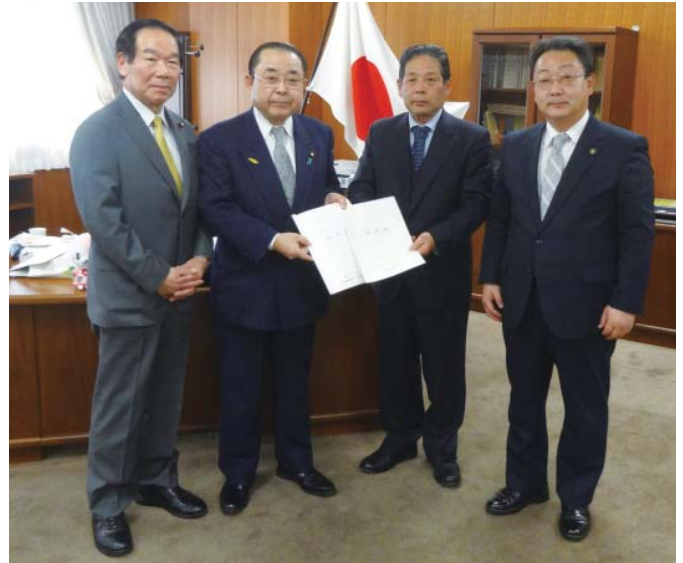
潮来市土地改良区所管 南幹線用水路南側の法面等の早期修復について農林水産省・復興庁へ要望活動を実施しました

2月13日（木）、額賀 福志郎衆議院議員、潮来市土地改良区の今泉 和理事長、原市長が、江藤農林水産大臣と田中復興大臣に対し、潮来市土地改良区所管 南幹線用水路南側の法面等の早期修復について要望活動を実施し、2月18日（火）、農林水産省及び復興庁の職員が現地視察を行いました。

南幹線用水路の北側の法面については、東日本大震災における復旧が進みましたが、南側については未確認のところもあり、復旧工事が実施されませんでした。昨年11月6日（水）に「池の水ぜんぶ抜く大作戦」収録のために水抜きをしたことで崩落している状況が確認されました。



農林水産大臣室にて



復興大臣室にて

潮来市体育協会主催 普通救命講習会が開催されました

2月2日（日）、中央公民館大ホールにおいて、潮来市体育協会主催による「普通救命講習会」を開催しました。参加者は、潮来市体育協会に加盟する専門部の方々をはじめ、潮来市スポーツ推進委員や潮来市スポーツ少年団の合計35名が参加され、講師は潮来消防署 小林救命士の他、4人のボランティア指導士及び3人の普及員の方々にご協力いただきました。

普通救命講習では、一次救命処置（心肺蘇生とAED）の大切さを学び、実際どのように対応や措置を行えばよいのかを体験。また、怪我などをした場合の応急手当などの方法も行いました。心肺蘇生を試みる際、ただちに胸骨圧迫を、「強く・早く・絶え間なく」することが大切であること、AEDを使い電気ショックをした後も引き続き胸骨圧迫を続けなければならないなど、いざという時の一時救命措置の大切さを学びました。

参加者からは「救命処置の再認識ができた。このような場面に遭遇したときは、勇気をもって近づき、処置をすることが必要だと感じた」や「実際に胸骨圧迫をやってみると想像以上に力が必要で、周りにいる人と協力することが必要と感じた」など感想を述べていました。

